

01 目的

企業理念である「生きがい創造企業」を実現し、健康づくりを通じてお客様の生きがい創りに取組むためには従業員が「心身共に健康のプロフェッショナル」であることを会社として求め、自らの健康を維持向上させると共に、社会に貢献し生きがいを追求することを健康経営宣言と企業行動指針を通じて価値観として位置付けている。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果

課題：⑥その他(企業理念「生きがい創造企業」の実現)

健康経営で解決したい経営上の課題	企業理念の「生きがい創造企業」を実現し、健康づくりを通じてお客様の生きがい創りに取組むために、従業員が「心身共に健康のプロフェッショナル」であること
健康経営の実施により期待する効果	目標指標 ●従業員エンゲージメントの向上 ●「カロママプラス」従業員平均スコアの向上 ●定期健康診断 要管理率の低下 ●定期健康診断 要再検査、要精密検査、要医療者の再受診率の向上 ●喫煙者0の実現 ●顧客満足度の向上

自社従業員(組織)の課題と目標

●重点課題1 ⑬生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容 健康のプロフェッショナルであるための定期健康診断結果に基づく適切な受診行動。

受診完了報告書の提出率

目標	数値	年度
目標値	100%	2022

⑩生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容 従業員のヘルスリテラシー向上

ヘルスリテラシー向上のための目標指標

目標	数値	年度
目標値	2023年度検討中	2025

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

「健康経営を推進する社内横断プロジェクト」を設置し以下の取り組みを開始したこと

目的「ルネサンスの健康経営課題の解決を通じた新価値創造の実現」

1. 自社が保有する知財・サービスを用いてのルネサンスの健康経営課題の解決
2. 自社の健康経営課題の解決を基点とする、新規事業・サービスの探索
3. 健康経営推進委員会との連携による健康経営のさらなる社内浸透の促進

03 施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>



定期健康診断結果において、要再検査・要精密検査・要医療となった従業員に対し、健診結果と併せて社長名の「受診勧奨通知」を同封し、受診行動を促進。

受診完了報告書の提出率

	数値	年度
取組前実績値	73.4%	2019
現在の実績値	85.6%	2021

- ・要精密検査【2019年度:77.9%】【2020年度:38.9%】【2021年度:86.7%】
- ・要再検査【2019年度:68.1%】【2020年度:31.9%】【2021年度:84.2%】
- ・要医療【2019年度:65.0%】【2020年度:29.7%】【2021年度:84.2%】

具的な実践内容1

分類	自社組織
名称	要再検査・要精密検査・要医療の医療機関の受診勧奨①
内容	・健診結果返却と併せ、社長名による受診勧奨通知の同封 ・完了報告のない従業員に対し、定期的な個別フォロー実施
導入時期	2019年度
評価(定量・定性)	●受診完了報告書の提出率の向上【2019年度:73.4%】【2021年度:85.6%】 ●受診勧奨通知を社長名かつ色紙(赤)とすることで、受診行動が促進されている。

具的な実践内容2

分類	自社組織
名称	要再検査・要精密検査・要医療の医療機関の受診勧奨②
内容	受診完了報告のない従業員の上長、組織に対して対象者を見える化し、受診勧奨の支援。
導入時期	2019年度
評価(定量・定性)	●上長に対し対象者の有無を伝えることで、組織内の啓発がなされ、勤務時間の調整等の支援が生まれ、受診に繋がっている。

具的な実践内容3

分類	自社組織
名称	要再検査・要精密検査・要医療の医療機関の受診勧奨③
内容	事後措置の対応が必要な社員に対し、社員会からの受診費用の支援。(1万円/年度)
導入時期	2019年度
評価(定量・定性)	●対象者本人からは、受診のハードルが下がるという声があります。 ●対象者上長からは、費用支援の仕組みがあることで受診を促しやすいという声があります。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	会社に管理されて健康行動を起こすのではなく、自分ゴトとして、自律的に健康目標を設定し、行動し達成していくことができない従業員をさらに増やしていきたい。
今後取り組みたい施策の課題	①自社の従業員の健康経営課題を解決を、顧客へのサービス提供価値に転換していきたい。 ②データ一元管理システムの導入を通じた見える化により、施策のさらなる充実をはかりたい。

●施策内容<重点課題2>



従業員のヘルスリテラシー向上と行動変容を目的とした、知識と実践の場づくり。

ヘルスリテラシー向上のための目標指標(2023年度中策定)

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	カロママプラス
提供元社名	株式会社リンクアンドコミュニケーション
内容	食事、運動、睡眠等のログとアドバイス機能によって健康をサポートするアプリの従業員利用。
導入時期	2017年度
選択理由	●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	●健康リテラシーの向上(2019年度 従業員のアプリダウンロード率100%達成) ●「栄養バランスを考えている」従業員割合の増加【2018年度:41%】【2019年度:44%】【2020年度:49%】【2021年度:55%】 ●食事のバランスだけでなく運動も含めてスコアリングされることで、個人の生活習慣の改善はもちろんのこと、スコアをめぐる従業員間のコミュニケーションも発生して、集団としても健康習慣の定着が見られます。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	管理職向けヘルスマネジメント研修
提供元社名	NPO法人健康経営研究会 岡田理事長と共同で開発した管理職向けの研修プログラム
内容	健康診断結果、面談記録等の社員情報の一元管理
導入時期	2022年度
評価(定量・定性)	●受講対象者:上級管理職55名(次長、部長、副本部長、本部長) ●受講対象者に対する参加率【98.3%】 ●受講後アンケート結果:「よく理解できた・理解できた:100.0%」「活用のイメージができた:94.6%」 ●アンケートコメント抜粋 ・管理者としてヘルスマネジメントの重要性、リスクなどについて考える貴重な機会となった。 ・人的資本経営の根幹として、リーダーが健康の重要性を言い続けることが大切だと感じた。

具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	ヘルスリテラシー向上セミナー
内容	従業員のヘルスリテラシー向上、行動変容を目的とした、自社従業員が講師を務めるテーマ別セミナー(任意参加/オンライン)
導入時期	2022年度
評価(定量・定性)	※2023年2月第3週開催のため、成果記載はなし <参考>2023/2/10時点の参加申込状況 ●最高の睡眠を手に入れる!「睡眠セミナー」:61名 ●腸から体を鍛えよう!「腸活セミナー」:72名 ●知ってるようで知らない知識を習得「たばこ健康セミナー」:47名